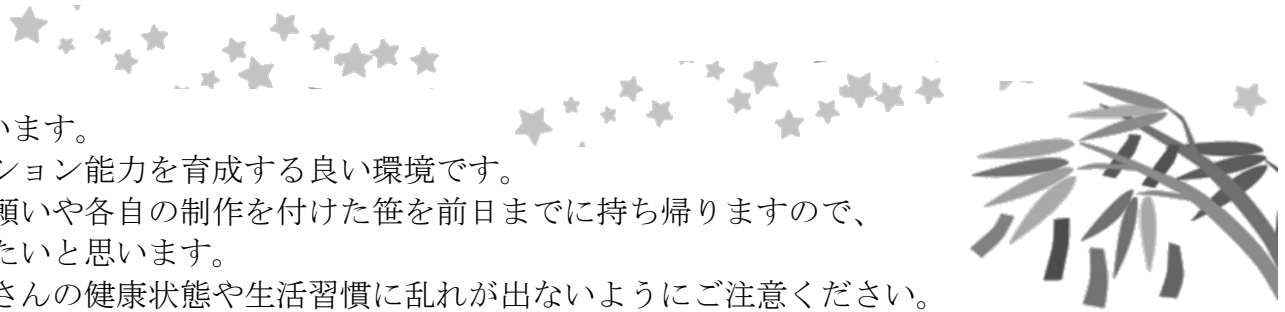


えんだより



3階の屋上や、1階の園庭では水遊びの歓声が響いています。

夏の期間、水で遊ぶ楽しさは友達同士のコミュニケーション能力を育成する良い環境です。

7月7日は「七夕まつり」です。短冊に保護者の方の願いや各自の制作を付けた笹を前日までに持ち帰りますので、お家でも装飾をつぎ足すなどして七夕を楽しんで頂きたいと思ひます。

お盆などで遠方へ出かける方は、環境の変化等でお子さんの健康状態や生活習慣に乱れが出ないようにご注意ください。

★クラス紹介 (にじ組)

「認められる経験を通して、自信を持ち取り組む」



基本的な運動機能が身に付くと共に、食事・排泄・衣服の着脱等がほとんど自分で出来るようになります。自分でやり通そうとする姿を認め、子どもの気持ちとペースを大切にしながら見守っています。出来た時には一緒に喜びを共有する事で、少しずつ自信を持ち「自分でやりたい」という意欲に繋げられるよう援助していきます。

また、友だちと遊ぶ楽しさを知り、人間関係を広げていく大切な時期でもあります。

友だちとの関わりの中で生じるトラブルを経験し、自分の要求を表現したり、相手の思いに気が付く事が出来るようになるので、個々の気持ちを受け止めながら、言葉でのやり取りの仕方を知らせたり、言えた事・聞けた事を認めることで、気持ち良く人と関わる事ができる環境作りをしています。

イメージが豊かになってくると、友だちの遊びを真似し、気の合う友だちと一緒に「ごっこ遊び」等が増えてきます。遊びの中で自制心やルールを身に付ける等の社会性が育っていくように、一人ひとりに応じた適切な援助を行っていきます。

子ども自身の成長や頑張りを認めることで、様々なことに自信を持ち取り組むことが出来るような保育を目指しています。

★保健室より

夏に多い代表的な感染症についてお知らせ致します。暑さで体力が落ちた時は夏かぜに罹りやすくなります。子どもの健康状態に気を配りながら、楽しい夏をお過ごし下さい。

「プール熱」

アデノウイルスという感染力の強いウイルスが原因で高熱、咽頭痛、眼ヤニなどが症状です。また、感染力が強いためタオルの共用を避ける、手を洗うなどの注意も必要です。登園時には医師の記載する登園許可証が必要です。

「ヘルパンギーナ」

発熱と口腔内の水疱が特徴のウイルス性咽頭炎です。水疱が破れて潰瘍ができると唾液を飲み込む事も出来ないほど痛みを生じます。



「手足口病」

手の平、足の裏、口の中に水疱ができます。発熱はあっても38℃以下が殆どで、下痢を伴うこともあります。

「ヘルパンギーナ」も「手足口病」も、治ってから2~3週間はウイルスが便中に排泄される為おむつ交換やトイレの後はよく手を洗いましょう。

★先月、歯科健診がありました。結果をお知らせします。(95人/102人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
虫歯数	0人	0人	1人	2人	4人	9人

大人になってからもずっと健康な歯で生涯を過ごすためには、子どもの頃から歯と口の健康に関心を持つことが大切です。健診で虫歯がわかった人は歯科受診しましょう。歯を大切に健康習慣を見直しましょう。

★給食室より

子どもが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付け、健康支援のために「食」はとても重要です。習慣や嗜好は幼少期に決まるといわれ、幼少期からの「食育」がきちんと行われることにより大人になっても知識や習慣を持ち続けることができます。

保育園では「作物を育てる」⇒「観察をする」⇒「収穫をする」⇒「料理をする」⇒「味をみる」⇒「食べる」⇒「味わう」⇒「感想を言う」⇒「後片付けをする」など年齢に応じて様々な経験をし、食への関心や興味、理解が深まるよう努めています。

- ・食べものを話題にする子ども
 - ・お腹がすくリズムの持てる子ども
 - ・一緒に食べたい人がいる子ども
 - ・食事づくり、準備にかかわる子ども
 - ・食べたいもの、好きなものが増える子ども
- を目標に、食育活動の積み重ねの結果「好き嫌いせずに食べることが出来るようになった」「料理に興味湧いてきた」「家族同士の会話時間が増えた」などの声が聞かれます。



ご家庭で旬の物を食材にしたり、食のクイズを楽しんだり、食に関する絵本を読んだりすることで、子どもが遊び感覚で食に興味を持つことで「食育」につながります。

食べることの大切さや楽しさを沢山体験し、病気になる食生活と食習慣を乳幼児期から定着させましょう。